



…歩き通したことで自分たちの自信に。  
 …自然に親しみ、地域の良さに気付く。  
 …地元の山岳に登り、植物眺望等に感動・満足。

(引率者の感想より)

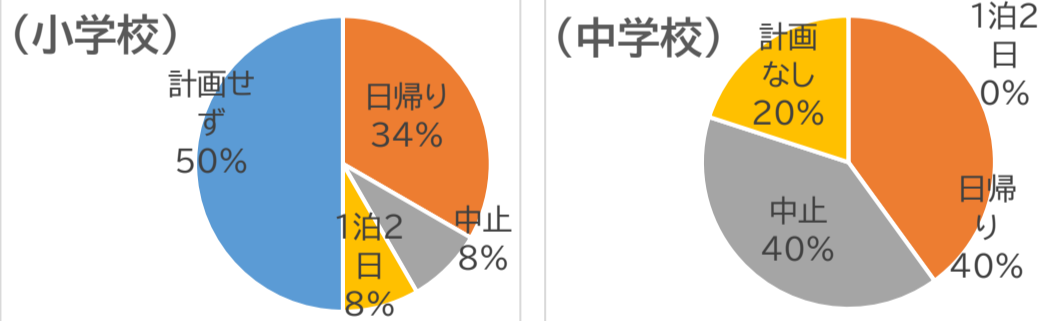
コロナ感染症の広がりを受けて、新しい学校登山のかたちが模索されています。諏訪教育会「登山の葉委員会」では、こうした中での各学校の状況について回答していただきました(12月下旬・42校より回答)。オミクロン株の拡大はもとより今後の感染症の広がりには予想が付きませんが、この結果を参考に、この地だからこそできる活動を絶やすことなく、各学校でこれからの学校登山の計画に役立てていただければ幸いです。(円グラフ作成後回答をいただいた学校の回答は、円グラフに反映されていません。)

■実施計画状況 実施した学校は黄色で示す (実施校の感想は裏面に)

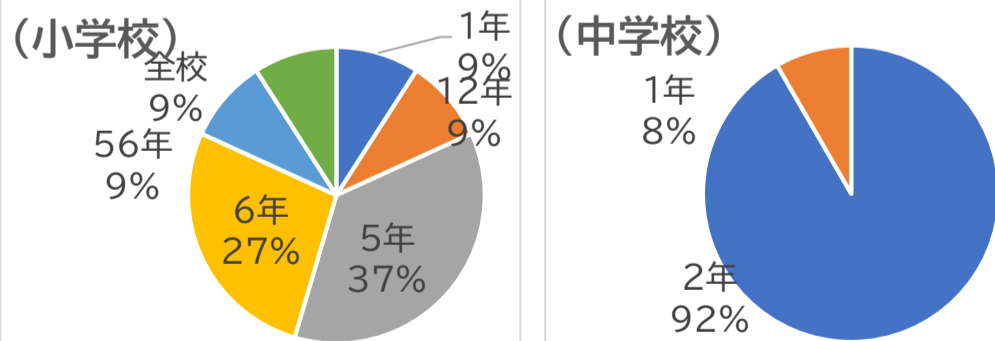
- ▲ 入笠山(4校) 岡谷北部中 諏訪南中 長峰中 小井川小 (3校 Gondola 利用)
- ▲ 編笠山(3校) 境小 富士見中 本郷小
- ▲ 北横・縞枯・茶臼・坪庭(3校) 岡谷西部中 岡谷東部中 上諏訪中
- ▲ 蓼科山(3校) 岡谷南部中 下諏訪中 東部中
- ▲ 白駒池・高見石(2校) 下諏訪社中 原中
- ▲ 車山(2校) 神明小 下諏訪北小
- ▲ 永明寺山(2校) 四賀小 永明小
- ▲ 守屋山(2校) 湖南小 中洲小
- ▲ 大見山 上諏訪小 ▲ 小泉山 玉川小 ▲ 根石岳 泉野小(桜平までジャンボタクシー利用)
- ▲ 硫黄岳 北部中(桜平集合) 永明中 ▲ 朝倉山 北山小



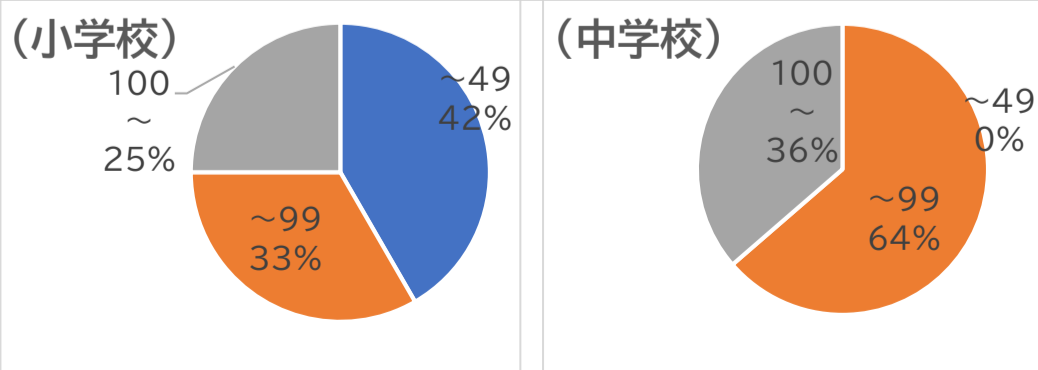
■日帰り・1泊2日・中止の割合



■参加学年



■参加人数



感染対策は？

- \* マスク着用・検温・手指消毒(多数)
- \* 行動中以外はマスク着用
- \* アルコールボトル・ウェットティッシュ持参。
- \* お弁当前・アルコール消毒
- \* レトルト食品の利用
- \* 黙食 飲食の際向き合わない
- \* バス・食事では1席空けて座る
- \* バス増便(多数) \* バス内無言
- \* ジャンボタクシーの利用
- \* 見学、散策は学級ごとに分散
- \* 間を空けて登る(多数)
- \* 宿舎の人数を少なくする
- \* 隊列が長くなるので6年生のみ実施。
- \* 5月実施を11月に延期。
- \* 日赤看護師同行
- \* 各山小屋に、感染予防対策を問い合わせたり、食事のスペースを確保させてもらえるようお願いしたりした。

非常食・行動食は？

指定なし、または、各自で用意。(5校)  
 カロリーメイト(5校) 飴(3校) チョコレート(2校)  
 ウィダーインゼリー(4校) 塩分タブレット(4校)  
 ナッツ類 おにぎり複数(朝食昼食兼ねる)  
 アレルギーもあるため、行動食にふさわしいものを食事係が提案、それを元に自身で買って持ってきた。  
 行動食は食育と合わせて、生徒各自で考えたものを持参。

## ■ 登山を「中止」・「計画せず」の理由

以前より、登山を実施していないため。  
 コロナのため(医療非常事態宣言中だった、感染予防レベル4だった、感染拡大防止徹底期間等)・・・多数。  
 コロナの状況が好転するとは考えにくく、山小屋での宿泊を避けた。自然体験学習に変更した。  
 大雨の影響で登山道の状態が良くなかったため。

## ■ かかった費用 ※単位は「校」

1泊2日		日帰り		予定していたが中止	
0円	0	0円	4	0円	3
～3000円	1	～3000円	3	～3000円	0
～6000円	0	～6000円	7	～6000円	2
～10000円	1	～10000円	0	～10000円	1

## ■ 登山用品レンタルの利用(回答があった分)

利用した	2校 (全て中学)
利用せず	24校

## ■ 保護者説明会(回答があった分)

実施	13校 (うち中学9校)
未実施	11校 (うち中学2校)



## ■ 来年度の見通し

予定あり	22校	→ 予定ありの学校は・・・	できれば1泊2日	5校
予定なし	11校		日帰り	17校
検討中	2校			



## ■ 引率者の感想から

### ◇小学校の先生方から

- ・キャンプ自体できてよかった。
- ・故郷の自然の豊かさを実感、歩き通したことで自分たちの自信になった。
- ・小学生にちょうど良い行程だった。
- ・たっぷりと自然と親しみ、地域の良さに気づくことができた。
- ・歩く距離が短いという意見も出たが、様々な事情がある子がいる事を踏まえると、ちょうど良い日程だったと思う。
- ・学区内で自然散策できてよい。
- ・地域の手軽な山なので、予定変更も難しくなかった。行事がなくなる中、子どもたちは山に登れてうれしそうだった。
- ・手軽に登れる山なので、低学年の生活科でも活用したい。
- ・ガイドの方が人数分ループを持参してくださり、八ヶ岳の特徴的な植物について説明したり実際に観察する時間を確保してくださったりした。児童が事前学習で見所や八ヶ岳について様々な角度から調べて自分たちなりのガイドブックを作った。このような活動によって、実際に登山中、目にするものへの好奇心や探究心が高まり、山に登るだけでなく、自然の中での学習が十分にできた。

### ◇中学校の先生方から

- ・代替行事で八ヶ岳の坪庭に。短時間しか八ヶ岳の自然に触れられなかったが、生徒の反応を見ると体験することが大切だと改めて感じた。諏訪地区で育つ子どもには、どんな形でもいいので八ヶ岳に行ってほしいと思った。
- ・コロナの影響もあること、全員で登頂できることを大切にしたいという中でやや物足りなさはあったかもしれないがよかったと思う。
- ・地元の山岳に登り、植物眺望等に感動、満足。
- ・山小屋に泊まる醍醐味は味わえないが、山の上まで行けない生徒にとって今回のコースは良かった。
- ・雨天のため、行程を短縮して行った。生徒は景色を見られたことで満足することができた。
- ・天気に恵まれ、生徒たちも楽しめた。
- ・登山は集団行動、行事に向かう学年作りと良い行事になった。

## ■ まとめ

コロナ対策をしながら、地域の山に親しめる登山行事を計画した様子がうかがえました。特にこれまで泊をとまなう登山を行ってきた中学校で、日帰りのコースを設定したり、ロープウエーなどを利用したりして、どの児童・生徒にも高山の雰囲気味わえる工夫をされていることが分かりました。およそ2年にわたるコロナ感染症対策の結果、登山引率経験が豊富な先生の減少や、子どもの体力低下といった課題のある中で、子どもたちの状況に配慮したバリエーションに富んだコースが組めるのも、ここ八ヶ岳ならではの点と考えます。今回のアンケート結果を参考に、ぜひ今後の登山計画を工夫し、地域の山に親しむ活動を進めていただきたいと思います。

データに関する問い合わせは、委員長・津澤淳(茅野市立宮川小学校)までおねがいします。